

令和元年度 日本海にぎわい・交流海道ネットワーク総会

《 開催ブロック代表挨拶 》



■酒田市長代理 千葉清司 港湾主幹

酒田市役所地域創生部商工港湾課の千葉と申します。本日酒田市の方が議会中ということもございまして、市長が出られないということで申し訳ございませんが代読させていただきます。それでは代読させていただきます。

日本海にぎわい・交流海道ネットワークの令和元年度総会の開会に当たりひと言ご挨拶申し上げます。本日は日本海沿岸の各地で港湾振興に取り組んでいらっしゃいますネットワーク会員の皆様により、多数のご出席をいただきまして誠に心より感謝申し上げます。

さて港湾においては昨年7月国土交通省港湾局で策定された港湾の中長期計画ポート2030に示されているとおりアジア各国の経済成長の中、立地する企業の国際競争力強化として、今後更に港湾の高度化へ進化が求められているところでございます。また今後起こりえる様々な大規模災害に対し、日本海太平洋側の連携強化をするとともに、海上輸送ネットワークの多重性等の確保が日本海沿岸地域の港湾が担う役割として要請が高まるものと考えてございます。さらに2020年訪日クルーズ旅客500万人の実現に向けて外国クルーズ船等の誘致に取り組んでおり、地域の交流人口の拡大や観光産業の振興に大いに貢献するものと期待されてございます。こうした状況に対して当ネットワークといたしましては、日本海沿岸地域が港湾を核として連携し、対岸諸国を含めた交流物流ネットワークを形成することで地域の発展に寄与する活動を推進していくところでございます。

本日はこのあとシンポジウムでも貴重なご講演や交流会、明日は現地見学が予定され

ておりますので、情報交換の場としてご活用いただきご出席のネットワーク会員皆様の交流を深め、この2日間に有意義なものとなりますことを祈念いたします。

最後になりますが、本総会を開催するに当たり関係各位の皆様のご尽力に対しお礼申し上げますとご挨拶とさせていただきます。令和元年10月1日 日本海にぎわい・交流海道ネットワークブロック代表 酒田市長 丸山至 代読です。本日はおめでとうございます。